令和6年度 第4回 松山市子ども・子育て会議

教育・保育部会 会議録

1. 日時

令和6年11月11日(月) 13:30~14:30

2. 場所

松山市保健所 6階中会議室

3. 当日の出席者等

(1) 出席委員(9人)

稲田 直行, 宇津見 亮子, 香川 実恵子, 小助川 元太, 二宮 一朗, 濱田 由紀, 村上 出, 森 公夫, 吉野 亜祐美(五十音順、敬称略)

(2) 事務局

保育・幼稚園課, こどもえがお課, こども相談課, すくすく支援課

4. 傍聴の可否

可(傍聴者0人)

5. 会議次第

(1) 開会

(2) 協議事項

①「松山市こども計画」について～計画掲載事業～

②「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画(案)」について～「子ども・子育て支援の取り組み」部分～

・子ども・子育て支援事業計画の基本指針の一部改正及び提供区域の追加設定について

・特定教育・保育の「量の見込み」と「確保の内容」について

・地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保の内容」について

・子ども・子育て支援の推進方策等について

③新たに認可・認定を受けて令和7年4月から事業を開始する予定施設等の利用定員について

(3) その他 連絡事項等

(4) 閉会

6. 配布資料

・次第

・委員名簿

・資料1-1・資料1-2 「松山市こども計画」～計画掲載事業～

・資料2 「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画(案)」～「子ども・子育て支援の取り組み」部分～
子ども・子育て支援事業計画の基本指針の一部改正及び提供区域の追加設定について

・資料3 「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画(案)」～「子ども・子育て支援の取り組み」部分～
「量の見込み」「確保の内容」について(特定教育・保育部分)

・資料4 「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画(案)」～「子ども・子育て支援の取り組み」部分～
「量の見込み」「確保の内容」について(地域子ども・子育て支援事業部分)

・資料5 「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画(案)」～「子ども・子育て支援の取り組み」部分～
「子ども・子育て支援の推進方策」等について

・資料6 新たに認可・認定を受けて令和7年4月から事業を開始する予定施設等の利用定員について

会議録

1. 開会

・事務局

それでは、定刻となりましたので、始めさせていただきます。

私は、当会議の事務局を務めております、松山市保育・幼稚園課の青山でございます。よろしくお願いいたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。

まずは、お手元にお配りしている資料の確認をさせていただきます。

～配付資料一覧により、資料 確認～

資料が足りない方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いします。

はじめに、お断りとご報告をさせていただきます。

本日の会議は、本市の規定により、その全部を公開することとし、議事の記録は、その要旨を、松山市のホームページに掲載し、市民の皆様等へ情報提供をさせていただくこととしておりますので、御承知おきください。

なお、議事録作成のため、会場内に録音機を配置し、発言を録音させていただきますので、よろしくお願いいたします。

・事務局

それでは、ただ今から、令和6年度第4回松山市子ども・子育て会議 教育・保育部会を開会させていただきます。

本日の部会につきましては、委員総数10名のうち、9名のご出席をいただいておりますので、松山市子ども・子育て会議条例第8条第4項の規定により準用する第6条第2項の規定により、本会議が成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

開会に先立ちまして、松山市保育幼稚園課専任課長吉本からご挨拶申し上げます。

～吉本専任課長挨拶～

・事務局

それでは、松山市子ども・子育て会議条例第8条第4項の規定により準用する第6条第1項の規定により、これより先は、小助川部会長に進行をお願いいたします。

小助川部会長、よろしくお願いいたします。

2. 協議事項

・部会長

皆様、こんにちは。先月に続き、第4回目の会議です。

本日は、前回説明のあった、「松山市こども計画」の計画掲載事業、「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」の特定教育・保育や地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保の内容」部分及び「子ども・子育て支援の推進方策」部分を審議する予定です。さらに、前回の内容に加えて、基本指針の一部改正による提供区域の追加設定についてもご審議いただきます。本日の審議により、松山市こども計画の部会審議事項及び第3期松山市子ども・子育て支援事業計画をすべて決定するようになります。

また、計画とは別の議案として、令和7年度から事業を開始する予定施設の利用定員の仮設定についても決定する予定です。

時間も限られていることですから、ご意見は頂戴しながらも、できるだけスムーズに進行できるようご協力をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

(1)「松山市こども計画」の計画掲載事業について

・部会長

まずは、協議事項の(1)「松山市こども計画」の計画掲載事業について、事務局から説明をお願いします。

～事務局から資料1-1「松山市こども計画について～計画掲載事業～」、資料1-2「松山市こども計画について～計画掲載事業一覧～」の説明～

・部会長

前回ご説明いただいた、松山市こども計画で掲載する事業について、本日正式に審議するものです。前回の説明以降、各委員の方からいただいた意見等をもとに修正を行ったとの説明でした。何かご意見や質問があればお願いします。

～委員から意見なし～

・部会長

それでは、(1)「松山市こども計画」の計画掲載事業については、事務局(案)を承認し、全体会への報告の取りまとめについては、事務局に一任することによろしいでしょうか。

～委員から異議なし～

それでは、事務局はこの部分について、全体会での報告に向けて、取りまとめ作業をお願いします。

(2)「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画(案)」について～「子ども・子育て支援の取り組み」部分～

①子ども・子育て支援事業計画の基本指針の一部改正及び提供区域の追加設定について

・部会長

続きまして、協議事項の(2)に移ります。最初に、(2)「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画(案)」の「子ども・子育て支援の取り組み」部分について、①子ども・子育て支援事業計画の基本指針の一部改正及び提供区域の追加設定についてです。事務局から説明をお願いします。

～事務局から、資料2子ども・子育て支援事業計画の基本指針の一部改正及び提供区域の追加設定について 説明～

・部会長

基本指針の一部改正を受け、第3期事業計画で、「乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)」の提供区域を追加設定し、その区域は市内全域を1区域とするとの説明がありました。何かご意見や質問等がございましたら、よろしくをお願いします。

・委員 A

私たちに直接関係があるところなので、教えてほしいのですが、令和8年度からそれぞれの自治体が完全実施という方針になっていると思います。そうなった時に、令和7年度までの試行的事業と令和8年度から始まる方法では違いがあるという話も聞いています。もう少し説明していただいた方が良いと思うのは、市町村は必ず実施しないといけないのですが、施設はやるかどうか聞いていただき、出来るところはやっていくという制度になると思います。既に試行的事業が結構行なわれている状況から考えて、できれば実施してほしいと思っていますが、やるかやらないかをできるだけ早く決めていただきました。

いと思います。

もう1点、資料2ページの参考：各事業概要の乳児等通園支援事業の対象で、年齢が満3歳未満というのは正しいと思いますが、スタートの時期が国で議論されているのが6か月からになっていると思います。また、満3歳になると幼稚園や保育所に通ってなくても、国が決めている制度の対象からは外れますが、独自で試行的事業を実施している市町があります。今後、松山市として、その部分についてどのようにするのか、この計画の中に入れるのか。制度を作っている意義としては、子ども子育て支援新制度の対象にならない子どもや家庭が対象となっていると思いますので、国が言っていることだけでなく、それ以上のことを考えて進めていただければと思います。

・事務局

まず、令和8年度から完全実施となっていて、令和7年度までの試行的事業と内容が違うのではないかということでしたが、令和5年度・6年度に関しては、国の予算に基づく補助事業になっていて、それで試行的事業として各自治体でやれる所がやっている状況です。令和7年度には法に定められた事業として法定化されますが、それも補助事業で任意事業です。まだその基準は国が検討中で、正式に示されていないところです。我々も出来るだけ早く先行的に実施したいと考えていますが、国から基準が示されていない状況なので、いつからできるか明言はできない状況です。検討は進めています。令和8年度からはご指摘のとおり、完全実施になりますので、国の基準も踏まえてできるだけ早く検討して取り組みたいところです。

対象児童の年齢については、ご指摘のとおり、満3歳未満と書いていますが、0歳6か月以上ということで国の議論が進んでいますので、基本的には0歳6か月から満3歳未満になる予定です。

子どもが満3歳以上で、仕事をしていない方にどう対応していくのかについては、国の検討会議論を見ると、満3歳以上に関しては1号認定、いわゆる幼稚園や認定こども園の幼稚園機能部分が利用可能になるので、一定制度上は対象から外しているということです。そのあたりに関しては、そこで十分ニーズを受けきれぬかを含めて、今後検討していく必要があると考えています。

・委員B

全面実施までの間に、モデル事業の試行は予定されていないのでしょうか。

・事務局

国では令和7年度から法定事業として実施するのですが、本格的な実施は令和8年度からになるので、まだ、実際にどうするか明言は出来ません。国の基準も見て、令和8年度の本格実施の前に、令和7年度から先行的に実施することも含めて検討をしている状況です。

・委員B

実際にこの事業が実施されることになると、かなり課題が出てくるでしょう。例えば、保育従事者いわゆる保育士ではない人たちの資格取得をどの時点で実施するのか。それに対していつから従事者として認定して、それなりの手当が出来るのか。既に問題になっているのは、実施事業者の中で、業務が非常に煩雑になってきており、処理しきれないという声が上がっています。そのあたりは、実際にモデル事業を実施して、測定しないと、本格始動になった場合に大混乱が生じるのではないのでしょうか。下手をすると、どこも事業者として参加できない、手を差し伸べられない、定員枠の空きがある所だけが対応できるといった、部分的な実施になってしまうのではないかという懸念があるので、ぜひご検討いただきたいと思います。

・事務局

さきほど申し上げたとおり、我々も先行的な実施も含めて検討している最中です。国でも必要な資格や研修等について検討会で議論され、12月に取りまとめもあるような状態です。今後そのような状況を見ながら、混乱が無いように進めていきたいと考えています。

・委員 A

おそらく、通常の保育所等とは違う部分があると思われるのは、広域利用が可能になることです。例えば、里帰り出産で、東京や大阪から松山に帰ってきて、スポットで利用するのはOKとなったときに、システムは国で作ってくださるという話でしたが、その後の、いろいろな請求はどうなるのか、少し不安要素があります。そのような、今までの他の事業と違う部分があるということと、また、本格実施になり、このような制度が出来ても一般の人々に周知するまでに時間がかかります。事業を実施する所はある程度の人員等を備えなければならないが、蓋を開けてみたら利用者が来ないということになると、事業としてかなり厳しいと思うので、できるだけ早く周知も含めて取り組んでいただけるとよいと思います。

・部会長

他によろしいでしょうか。いま、2人の委員からお話が出ましたが、いわゆるモデル事業の実施は不可欠だというお話だったかと思しますので、その点も前向きに検討していただければと思います。よろしく願いいたします。

それでは、(2)「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画(案)」の「子ども・子育て支援の取り組み」部分について、①子ども・子育て支援事業計画の基本指針の一部改正及び提供区域の追加設定について、事務局(案)を承認し、全体会への報告の取りまとめについては、事務局に一任すること、そして今ご意見が出たことについても検討していただくということによろしいでしょうか。

～委員から異議なし～

それでは、事務局はこの部分について、全体会での報告に向けて、取りまとめ作業をお願いします。

②特定教育・保育の「量の見込み」と「確保の内容」について

・部会長

続きまして、②特定教育・保育の「量の見込み」と「確保の内容」についてです。事務局から説明をお願いします。

～事務局から資料3 特定教育・保育の「量の見込み」「確保の内容」についての説明～

・部会長

前回、算出方法についてご説明いただき、掲載(案)も示されていた部分を、本日正式に審議するものです。前回の説明以降、各委員の方から特に意見がなかったようですので、前回も示した事務局(案)を第3期事業計画(案)とするとの説明でした。何かご意見や質問があればよろしくお願いします。

～委員から意見なし～

・部会長

それでは、②特定教育・保育の「量の見込み」と「確保の内容」については、事務局(案)を承認し、全体会への報告の取りまとめについては、事務局に一任することによろしいでしょうか。

～委員から異議なし～

・部会長

では、事務局はこの部分について、全体会での報告に向けて、作業をお願いします。

③地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保の内容」について

・部会長

続いて、③地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保の内容」についてです。事務局から説明をお願いします。

～事務局から資料4～地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保の内容」の説明～

・部会長

新たに地域子ども・子育て支援事業に追加された「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」については、提供区域の設定のみ行い、「量の見込み」と「確保の内容」は国の基準や市の方針が決定次第、事業開始までに設定するとの説明でした。

また、そのほかの事業については、前回の説明以降、各委員の方から特に意見がなかったようですので、前回も示した事務局（案）を第3期事業計画（案）とするとの説明でした。これにつきまして、何かご意見等がありましたらよろしくをお願いします。

～委員から意見なし～

・部会長

それでは、③地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保の内容」については、事務局（案）を承認し、全体会への報告の取りまとめについては、事務局に一任することによろしいでしょうか。

～委員から異議なし～

・部会長

では、事務局はこの部分について、全体会での報告に向けて、作業をお願いします。

④子ども・子育て支援の推進方策等について

・部会長

続きまして、④子ども・子育て支援の推進方策等についてです。事務局から説明をお願いします。

～事務局から資料5子ども・子育て支援の推進方策等の説明～

・部会長

「2. 子ども・子育て支援給付に係る教育・保育の一体的提供及び推進に関する体制の確保の内容」のうち、「(7) 教育・保育施設及び地域型保育事業を行う者の相互連携並びに認定こども園、幼稚園及び保育所と小学校等との連携についての基本的な考え方を踏まえたこれからの連携推進方策」、及び、「6. 地域子ども・子育て支援事業の関係機関相互の連携推進に関する事項」について、各委員からいただいた意見をもとに事務局で修正を行ったとの説明がありました。

また、そのほかの事項については、前回の説明以降、各委員の方から特に意見がなかったようですので、前回も示した事務局（案）を第3期事業計画（案）とするとの説明でした。何かご意見や質問はございませんでしょうか。

～委員から意見なし～

・部会長

それでは、④子ども・子育て支援の推進方策等については、事務局（案）を承認し、全体会への報告の取りまとめについては、事務局に一任することによろしいでしょうか。

～委員から異議なし～

・部会長

では、事務局はこの部分について、全体会での報告に向けて、作業をお願いします。

以上で、「松山市こども計画」及び「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」に関する議事を終了いたしました。これまでを通して、改めて質問等はございませんか。

～委員から意見なし～

(3) 新たに認可・認定を受けて令和7年4月から事業を開始する予定施設等の利用定員について

・部会長

それでは、協議事項の(3)に移ります。新たに認可・認定を受けて令和7年4月から事業を開始する予定施設等の利用定員についてです。事務局から説明をお願いします。

～事務局から資料6 新たに認可を受けて令和7年4月から事業を開始する予定施設等の利用定員についての説明～

・部会長

令和7年度から、地域型保育事業の1施設が保育所に移行する予定で、その施設の利用定員について説明をしていただきました。

事務局の説明でもあったように、本日は、あくまでも令和7年度の入園募集に際しての仮設定で、次回1月を目途に開催予定の当部会で、既存施設の利用定員分と合わせて、再度審議して決定します。

これにつきまして何かご意見や質問等がありましたらお願いします。

～委員から意見なし～

・部会長

それでは、議事は以上でございますが、続いて「連絡事項等」について、事務局から説明をお願いします。

3. その他（連絡事項）

・事務局

～事務局から、連絡事項を説明～

・部会長

以上をもちまして、本日の全ての審議を終了とします。インフルエンザが流行っているようですし、気候の変動も激しいので、皆様もお体に十分気をつけていただければと思います。それでは、事務局にお返しします。

4. 閉会

・事務局

部会長、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、「令和6年度第4回松山市子ども・子育て会議 教育・保育部会」を閉会いたします。

委員の皆様におかれましては、円滑な議事の進行にご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。

(了)